

## 令和2(2020)年度 第1回 吹田市文化振興審議会会議録

- 1 日 時 令和2年(2020年)8月27日(木) 13時～14時32分
- 2 場 所 吹田市文化会館 1階集会室
- 3 出席者 **【委員】** 藤野委員、大谷委員、藤原委員、古矢委員、米田委員、  
申崎委員、福留委員、辻本委員、天野委員  
**【事務局】** 井田都市魅力部長、木下都市魅力部総括参事  
文化スポーツ推進室 古田参事、横井参事、篠原主査  
花井係員、坂原係員、大西係員  
**【傍聴者】** なし
- 4 内 容
- 【討議案件】**
- (1) 吹田市文化振興基本計画の計画期間の変更について(諮問)
  - (2) 今後の文化芸術の在り方、ウィズ・コロナ時代の文化振興施策について(意見聴取)
  - (3) その他
- 5 議 事 都市魅力部長挨拶、委員及び事務局自己紹介の後、会長・副会長の選出。互選の結果、会長に藤野委員、副会長に大谷委員を選出

### 案 件

#### (1) 吹田市文化振興基本計画の計画期間の変更について

- ア 事務局より吹田市文化振興基本計画の計画期間の変更について諮問
- イ 主な発言要旨

- A 委員 計画期間の1年延長は、市議会の承認を受ける必要があるのか。
- 事務局 本計画の策定や変更については、市議会の議決は必要でないが、計画期間の延長を行うことは、報告したいと考えている。
- 会 長 吹田市文化振興基本計画の計画期間を令和3年度末まで1年間延長することについて異議ないか。
- 委 員 (異議なし)
- 会 長 審議会として計画期間の変更について承認することを確認した。後日、市に対して答申書を提出する。

(2) 今後の文化芸術の在り方、ウィズ・コロナ時代の文化振興施策について

ア 事務局より、今後の文化芸術の在り方、ウィズ・コロナ時代の文化振興施策に関する意見聴取について説明

イ 主な発言要旨

会 長 芸術文化活動によって自己実現を図っていくことは素晴らしいことであるが、日本では、文化・芸術は個人的な趣味、道楽の範疇だと見なされ、そういう個人的なことに公的な支援を行う必要はないという考え方につながっている状況もある。

文化や芸術は、世の中の現実を映し出す鏡であり、社会や権力者を批判的に考察する役割がある一方、この世のあるべき理想の姿を見せてくれる光でもある。文化・芸術は、決して贅沢品や好きな人だけのものではなく、辛いことや困難があっても共に生き抜いていく力や社会の連帯感を育むものであり、そういう価値観を社会で共有していくことが非常に大事だと思う。

案件(2)の意見聴取について、まず、新型コロナウイルス感染症の文化・芸術への影響について発言はないか。

A 委員 メイシアター（吹田市文化会館）は、大規模改修工事を終え9月からリニューアルオープンするが、コロナ禍の影響で9月、10月の貸室予約は、多くのキャンセルが出ている。また、今後、文化振興事業団が主催する市民参加型の事業や青少年の育成事業、大学と連携した事業をはじめ、特に出演者、スタッフの多い事業は、感染拡大予防対策を講じることが難しく、実施が困難になるのではないかと危惧しており、やり方を工夫するなどして対応しなければならないと感じている。

これまでは、事業団の自主事業である芸術鑑賞機会の提供と、貸館事業である市民による活発な文化活動の双方がうまく機能して利活用が図られていたが、コロナ禍と利用者の高齢化等の問題もあり、施設運営は厳しい状況が続いている。このままでは、他市の文化施設や劇場と同様に運営が困難な事態になるのではないかと心配している。

この先、現在の客席数の規制が解除されても、新型コロナのことが不安で利用を躊躇される方もいるので、すぐには元の状態には戻らないと思う。

メイシアターは、短時間で換気可能なシステムを持っており、決して密閉環境にならない施設であるが、劇場というところは生活に必要なところであり安全であるということ、ぜひ著名な方や多くの人が声を上げて世間に広くPRしてほしいと思う。

今後とも、できる限りの感染拡大防止対策を講じながら運営を続けたいと考えており、早く皆が安心して心から楽しめる日が戻るよう願っている。

B 委員 吹田市文化団体協議会では、5月の総会が書面開催となり、役員改選などの案件の実質的な議論ができなかったため、来年以降も続けば、組織が硬直化していくことが心配である。

この春の市民文化祭については、全く実施できなかった。秋の文化祭に関しても、観客数や観客の間隔をとる制限や感染防止策のルールを守って開催するか、俳句や川柳など誌上大会による開催とするところ、春に続き秋も中止するという3つの対応に分かれているが、やはり高齢者の方にはコロナ感染の不安があり、カラオケ連盟の方などはカラオケがクラスター感染の事例でよく言われていることもあり、実施することに慎重な姿勢が見受けられる。

来年以降についても、なんとか開催したいという声と、難しいという意見に分かれている。高齢者の会員が多いので、取組を継続していくことが大切であり、1年も2年も活動できない状態が続けば、会員数は大きく減少して、団体の存続が危機的状況になると危惧しており、その点は十分にフォローしていかなければならないと思っている。

C 委員 自分が台本を書いて手がけている演劇の公演は、すべてが中止もしくは来年へ延期となってしまった。仕方のないことだが、出演者や多くのスタッフ、舞台関係者には死活問題である。

8月に小さなホールで子どもたちが出演する公演を行ったが、集まって稽古することや準備を進めることも難しく、万一、出演者やスタッフとその家族に感染者が出た場合、即刻中止になることを覚悟して、公演を行うのは本当に大変である。

もっと容易にPCR検査を受けられる体制を整えるなど、何とか公演活動を行っていけるような方策を国が示してもらいたいと切に願っている。

会 長 今後の文化芸術の在り方や文化振興施策について意見があればお願いしたい。

D 委員 新型コロナウイルス感染症の影響は、相当の期間続くと思うが、恐れ過ぎないでできるところから文化活動を進めていくこと、文化芸術をできるだけ止めないことが大切だと思う。

- E 委員      コロナ禍になったことで、改めて人と人がふれあいつながること、ともに歌ったりすることの素晴らしさを私たちは認識したのではないか。  
アフターコロナになって、そういう人との交流やつながりが大切であるという思いをどう文化振興の取組に結び付けていくのか課題である。その一方で、安全に文化芸術に触れられるようなWebをうまく活用した取組や新しい見せ方、楽しみ方が生み出されていくことを期待している。
- F 委員      人が暮らしていくために、文化や芸術は必須なものであり、不要不急でないことは言うまでもない。コロナ禍が及ぼす影響については、指定感染症としての扱いが低い類型に格付けされるようになるまで、今の状況は変わらないのではないか。  
それまでは、ウィズ・コロナで文化芸術活動をやっていくしかないが、この審議会の中でも何か良いアイデアを考えていきたいという思いで参加している。
- G 委員      コロナ禍での文化・芸術の在り方について、人、場所、手段の3つの視点で考えたこと。  
人に関して、表現する機会や良質なものを見る機会が減っていく中、いかに出演者と鑑賞者双方の鋭い感覚、感受性を保っていくのかが問題だと思う。  
場所について、劇場の安全性ということでメイシアターの換気性能の話もあったが、音楽ホール演奏時の飛沫飛散実験において、演奏会での感染リスクは比較的少ないという結果も示されており、適切な対策を講じている劇場は、利用しても大丈夫だということを大いにアピールすべきである。  
手段については、こういうコロナ禍の状況だからこそ、団体あるいは親子で文化芸術を鑑賞するような事業に力を入れることで、親と子が文化芸術に触れてコミュニケーションする機会が増え、文化の振興や情操教育への効果も期待できるのではないか。
- H 委員      人の命をコロナウイルス感染症から守ることは大事であるが、文化や芸術活動ができなくなり廃れてしまえば、人生の喜びや生きがいとともに、これまで積み重ねた文化芸術の基盤も失われてしまうことになる。見せ方や稽古の仕方などを創意工夫することで、文化芸術活動が全くのゼロとならないようすることが重要である。

次の文化振興基本計画には、新型コロナウイルス感染症流行のようなリスクを想定して、その対応、対策について盛り込み、吹田市は文化芸術活動の振興に前向きであること、また、文化や芸術は暮らしに欠かせない必須のものだという確かなメッセージを市民へ伝えていければ良いと思う。

会 長                    時間の関係もあるので、案件(2)の審議を終了する。  
                              その他の案件について、事務局から説明願いたい。

事務局                    審議会の次回開催予定については、具体的な時期は決めていないが、  
                              詳細が決まればお知らせしたい。

                              2つ目の案件、今後の文化芸術の在り方、ウィズ・コロナ時代の文化振興施策については、会議後も9月末までの期間、意見や提案を受け付けたい。別紙2の様式あるいはその他の様式でも構わないので、電子メール、郵送等で提出をお願いする。

会 長                    他になければ、本日の審議会は終了する。